



二宮翁夜話

福住正兄著

2025
【令和7年】

厚木市厚木小学校修復後
山口貴裕厚木市長、佐後佳親教育長のご英断で保存が決まった今次修復です。



薬師寺 (松川市)

2025 1 令和7年

日	月	火	水	木	金	土
			1 先勝 元旦	2 友引	3 先負	4 仏滅
5 大安	6 赤口	7 先勝	8 友引	9 先負	10 仏滅	11 大安
12 赤口	13 先勝 成人の日	14 友引	15 先負	16 仏滅	17 大安	18 赤口
19 先勝	20 友引	21 先負	22 仏滅	23 大安	24 赤口	25 先勝
26 友引	27 先負	28 仏滅	29 先勝	30 友引	31 先負	

二宮翁夜話

- 第一話：誠は、天地の間・現実活動の中にあるそれを見出して人の世の為に活用せよ
- 第二話：天道と人道：天理には善悪の区別はない人道は人の役に立つものを善とする
- 第三話：人道は、天理に従い、天理に逆らうで完成する、それが推譲の精神の基となる
- 第五話：人道は維持に努めるべき道、天理に従う部分も有るが殆どが作為の道である
- 第六話：人道は私欲に克って努力して守るもの
- 第七話：傍観者は罪人
- 第八話：真理に至る入り口はいくつもあるが真理は一つ
- 第九話：物の値段や賃金が高いのはそれだけ力があるからであるそれを上手く活用できないで他の国へ出て行くのは、間違っている
- 第十話：信念に基づいて努力し、決して見返りを求めてはいけない



道の駅ランテラス筑西 (筑西市)



新治小学校 (筑西市)

2025 2 令和7年

日	月	火	水	木	金	土
						1 仏滅
2 大安	3 赤口	4 先勝	5 友引	6 先負	7 仏滅	8 大安
9 赤口	10 先勝	11 友引 建国記念の日	12 先負	13 仏滅	14 大安	15 赤口
16 先勝	17 友引	18 先負	19 仏滅	20 大安	21 赤口	22 先勝
23 友引 天皇誕生日	24 先負 振替休日	25 仏滅	26 大安	27 赤口	28 友引	

二宮翁夜話

- 第十一話：学問の為の急遽な学問ではなく世の中の為に実行できる学問こそ価値がある
- 第十二話：天下国家の安寧や繁栄も自分の足元から
- 第十三話：節約や蓄えは、異変や事故に備える為のもの
- 第十四話：大きな事は、小さい事の集まり
- 第十五話：小さい事から始める
- 第十六話：富ませる元は貯蓄
- 第十七話：出を制する事が富裕への道
- 第十八話：技術を持った太神楽は儒者に勝る
- 第十九話：物より命を惜しめ
- 第二十話：先に奉仕をすれば後からついてくる物がある

2025 3 令和7年

日	月	火	水	木	金	土
						1 先負
2 仏滅	3 大安	4 赤口	5 先勝	6 友引	7 先負	8 仏滅
9 大安	10 赤口	11 先勝	12 友引	13 先負	14 仏滅	15 大安
16 赤口	17 先勝	18 友引	19 先負	20 仏滅 春分の日	21 大安	22 赤口
23 先勝 30 仏滅	24 友引 31 大安	25 先負	26 仏滅	27 大安	28 赤口	29 先負

二宮翁夜話

- 第二十一話：内に誠があれば外に現れる現れれば必ず認められる
- 第二十二話：事に長じた人は、物事の真を外見からでも見分けられる
- 第二十三話：人は事業が社会の為に行われる事を自覚し、それを子孫に伝えてゆく事が大事な使命である事を知れ
- 第二十四話：分度を知り、推譲の心を持つ事が一家永続の源
- 第二十五話：決定と注意が、物事を上手く運ばせる決め手
- 第二十六話：対立する物事は本来一体であるが対応する人の立場によって捉え方は変わる
- 第二十七話：禍福は表裏一体、人の為になる事をすれば福となる
- 第二十八話：事業においてやさしい部分から取り組む
- 第二十九話：天理、天命とは言えその影響を変化させる事は可能
- 第三十話：薄きに対しても、厚きを以って答えよ



芝青（しぼとみ）小学校（旧芝川町 富士宮市）
タケノコ屋 風岡直安さんの母校です。ご案内いただき有難う御座いました。

2025 4 令和7年

日	月	火	水	木	金	土
		1 赤口	2 先勝	3 友引	4 先負	5 仏滅
6 大安	7 赤口	8 先勝	9 友引	10 先負	11 仏滅	12 大安
13 赤口	14 先勝	15 友引	16 先負	17 仏滅	18 大安	19 赤口
20 先勝	21 友引	22 先負	23 仏滅	24 大安	25 赤口	26 先勝
27 友引	28 仏滅	29 大安 昭和の日	30 赤口			

二宮翁夜話

- 第三十一話：言葉の内容にその人の方向性が見える、常に善、良、上を志向する考え方を持つ
- 第三十二話：聖人は自分では名乗らない、他人が認めた結果、そう呼ばれるだけである
- 第三十三話：老舗は、過去の人達の努力の上に成り立っている、それを勘違いするな。
乱世と平時は同じではないから、時代に合った考え方が必要
- 第三十四話：他人は家禄や役職上の地位に頭を下げる
- 第三十五話：事業の初期に余裕が出た時は、貯める事よりも、事業を効果的に進める為に有効に使う事を考えよ
- 第三十六話：過ぎたるは及ばざるが如し
- 第三十七話：他人に意見をする前に自分の心に意見せよ
- 第三十八話：分を守り、社会に譲ることが仁徳であり、仁の多い社会は繁栄の道を進む
- 第三十九話：学んだ事を仁の実現に活用して行く事が大事
- 第四十話：入ってくる事は、出た物が戻って来る事先に出す事こそ大事



箱根町立郷土資料館（箱根町）福住正兄生誕200年企画展より
学芸員 高橋秀和様ご案内いただき有難う御座いました。

2025 5 令和7年

日	月	火	水	木	金	土
				1 先勝	2 友引	3 先負 憲法記念日
4 仏滅 みどりの日	5 大安 こどもの日	6 赤口 振替休日	7 先勝	8 友引	9 先負	10 仏滅
11 大安	12 赤口	13 先勝	14 友引	15 先負	16 仏滅	17 大安
18 赤口	19 先勝	20 友引	21 先負	22 仏滅	23 大安	24 赤口
25 先勝	26 友引	27 大安	28 赤口	29 先勝	30 友引	31 先負

二宮翁夜話

- 第四十一話：双方が利益が得られる関係作りが大事
- 第四十二話：両方が喜ぶ事が多くなれば、繁栄に近づく
- 第四十三話：改革、復興には、人の心の改善が最も大切な仕事
- 第四十四話：運も因果応報の一種ではない
- 第四十五話：天の理は心の目でしか読めない
- 第四十六話：見栄えが良くても内容がない空論は意味がない、目的と手段を明確に示す事
- 第四十七話：将来を考える人は富み、目前しか考えない人は失う
- 第四十八話：家の内外を整える事は良い心を持つ為の第一歩
- 第四十九話：復習は社会の何の功德も齎さない徳を尊び、怨みには、徳を以って報いるべし
仇討ちは人道ではない 修羅の道
- 第五十話：一念発起したら初志貫徹すべし



牛首別 (うしべつ) 川二宮橋 (豊原町)

2025 6 令和7年

日	月	火	水	木	金	土
1 仏滅	2 大安	3 赤口	4 先勝	5 友引	6 先負	7 仏滅
8 大安	9 赤口	10 先勝	11 友引	12 先負	13 仏滅	14 大安
15 赤口	16 先勝	17 友引	18 先負	19 仏滅	20 大安	21 赤口
22 先勝	23 友引	24 先負	25 赤口	26 先勝	27 友引	28 先負
29 仏滅	30 大安					

二宮翁夜話

- 第五十一話：指導者は強さの中にやさしさをそして時々反省を
- 第五十二話：対象を良く理解し、一体となって調和する
- 第五十三話：理論では天理が道であるが 実際では人道が本当の道
- 第五十四話：相手の力を利用して相手に勝つ
- 第五十五話：人が生きているのは、自分の力ではなく、他の多くの努力の賜物
- 第五十六話：何事でもその元を作る為に他人の力が働いている事を知るべし
- 第五十七話：大事業では、万一や異変を乗り越える策を必ず持たす
- 第五十八話：埋め立て事業でも事業の後戻りが無い様に手はずを整えるべし
- 第五十九話：尊徳が目指した事は、日本中の心田を開発する事
- 第六十話：世の中には作物の育たない寒い季節もあるがその時は次の暖かい時期への備えをして待つにしかず



報徳会はななか (相模原市)
入浴着様が汚損混濁して育てる百合せです。

2025 7 令和7年

日	月	火	水	木	金	土
		1 赤口	2 先勝	3 友引	4 先負	5 仏滅
6 大安	7 赤口	8 先勝	9 友引	10 先負	11 仏滅	12 大安
13 赤口	14 先勝	15 友引	16 先負	17 仏滅	18 大安	19 赤口
20 先勝	21 友引 海の日	22 先負	23 仏滅	24 大安	25 赤口	26 先勝
27 友引	28 先負	29 仏滅	30 大安	31 赤口		

二宮翁夜話

- 第六十一話：我意も飾り無く、正々堂々たる生き方
- 第六十二話：書物に書いてあるのは氷の状態胸の中で暖め溶かしてこそ役に立つ
- 第六十三話：神道が儒教仏教道を支えていた
- 第六十四話：神の道と称して自己の目的の道を読む書物が多いが気をつけて見分けよ
- 第六十五話：太陽の光は区別が無く注ぐ、しかし受ける側にその意思が無ければ効果は出ない
- 第六十六話：この世のありふれた事を難しく表現して自らの権威を高めようとする輩が多い
- 第六十七話：悪を為さず、善を行うのは当たり前前の人の道
- 第六十八話：人には天分があり、その時の状況がある、それを弁えた生活が大仕事である
- 第六十九話：世界は生じては滅すると言う、たった一つの真理の下に成り立っている
- 第七十話：悟りの道と人の道は相容れない部分があるが、敵対する関係ではない



草津小学校 (草津町)
粟生楽泉園重監房資料館を訪ねた際に近くで見つけた全次郎像です。
馬尾和久館長、有難う御座いました。

2025 8 令和7年

日	月	火	水	木	金	土
					1 先勝	2 友引
3 先負	4 仏滅	5 大安	6 赤口	7 先勝	8 友引	9 先負
10 仏滅	11 大安 山の日	12 赤口 (社務) 懇親会 設立記念祭	13 先勝	14 友引	15 先負	16 仏滅
17 大安	18 赤口	19 先勝	20 友引	21 先負	22 仏滅	23 先勝
24 友引 31 先負	25 先負	26 仏滅	27 大安	28 赤口	29 先勝	30 友引

二宮翁夜話

- 第七十一話：教えるには、人の為にと言う目的を明確にして言行一致を目指すべし
- 第七十二話：理屈に走り過ぎるのも考え者
- 第七十三話：物事には、目的に応じたそれなりの工夫が求められる
- 第七十四話：養子と言えども、養父母を大切にすることは勤めである
- 第七十五話：一心を固めれば、何事も恐れる事無く、確実に乗り越えられる
- 第七十六話：正しく本業に南面するのみ、と言う言葉を生涯忘れない事
- 第七十七話：世の中に「満」と言う字はあってもそれがどれだけなのかは誰も知らない満より半分で身を維持する事が大事である
- 第七十八話：定義をせずに、単に感覚的に捉えて言葉を用いてはならない、これが日本人の悪い所である
- 第七十九話：譲らと言う事は人と生まれたからには、どうしても実行しなければならない道であるしかも、譲らなければならないのは生きる上での全ての事についてである
- 第八十話：人は止まると言う事を知ってこそ人である、欲望に任せてただだ利を貪る事は世の中を乱す事にしかない



タケノコ王 風岡直宏さんの祖父
風岡直雄様が寄贈された門柱です。
牧村由里香校長先生 休日にも関わらず
ご対応有り御座いました。

2025 9 令和7年

日	月	火	水	木	金	土
	1 仏滅	2 大安	3 赤口	4 先勝	5 友引	6 先負
7 仏滅	8 大安	9 赤口	10 先勝	11 友引	12 先負	13 仏滅
14 大安	15 赤口 敬老の日	16 先勝	17 友引	18 先負	19 仏滅	20 大安
21 赤口	22 友引	23 先負 秋分の日	24 仏滅	25 大安	26 赤口	27 先勝
28 友引	29 先負	30 仏滅				

二宮翁夜話

- 第八十一話：身に余るような事を命じられたのを有難く思う今の気持ちを忘れずにいれば充実した人生を送れる
- 第八十二話：重責に任命された時こそ、身を慎み、贅沢を戒めなければならない
- 第八十三話：権力者や重職者には、耳障りの良い甘言を持って、取り入ろうと近づいて来る者がある上に立つものは、十分に心して望む必要がある
- 第八十四話：賄賂が黙認されると全ての行為が賄賂としては通用しなくなる
- 第八十五話：物には順序と言う物が有るその理屈を良く理解し良く学び、それに従って良く励む事が成就させる秘訣である
- 第八十六話：物を売る為にはその物を飾るが、国や村を富ますには、飾らない素直な気持ちで当たる事が必要である
- 第八十七話：天地の理に照らし合わせればいつも正しい道が見出せる
- 第八十八話：この世は運命共同体である
- 第八十九話：人が自分の好きな事ばかりを言っていれば良い結果は得られない、嫌いな事に立ち向かってこそ、良い結果が得られるようになる
- 第九十話：過ちは深く認めて、速やかに改める事である、これを言葉で糊塗してうやむやにしてしまう事は誤りである口は災いの元である 虚言 讒言は慎む事



京都市立図書館前 (京都市)

2025 10 令和7年

日	月	火	水	木	金	土
			1 大安	2 赤口	3 先勝	4 友引
5 先負	6 仏滅	7 大安	8 赤口	9 先勝	10 友引	11 先負
12 仏滅	13 大安 スポーツの日	14 赤口	15 先勝	16 友引	17 先負	18 仏滅
19 大安	20 赤口	21 先負	22 仏滅	23 大安	24 赤口	25 先勝
26 友引	27 先負	28 仏滅	29 大安	30 赤口	31 先勝	

二宮翁夜話

- 第九十一話：人が捨ててはいいが捨てたも同様に放置されている物が多数ある それを活用すれば人の役に立つ
- 第九十二話：尊徳が開発を手がけた荒地の中で最も損出が大きい荒地は心の荒地である
- 第九十三話：恩に報いるのが人の道であり、これを全うするようにすれば、世の中の事は全て上手く行く
- 第九十四話：良い人と交わる事が、大切な事、特におべっか使いや、追従者と交わる事は人をだめにする、最も悪い事である
- 第九十五話：本当の仁は、相手に恩恵を蒙ったと感じさせない程に、仁を推進する事
- 第九十六話：相手が受入れる体制になってから教える
- 第九十七話：人の生活も国家の財政も苦しい時は少ない資金で賄うようにして行くのが本筋
- 第九十八話：指導者は人一倍努力してもようやく一人前にしか評価されない
- 第九十九話：対極にあるように見える物も良く見れば本質は同じ
- 第百話：心を落ち着かせてから熟慮すれば良い考えに到達出来る



大崎神社右像 (真岡市)

2025 11 令和7年

日	月	火	水	木	金	土
						1 友引
2 先負	3 仏滅 文化の日	4 大安	5 赤口	6 先勝	7 友引	8 先負
9 仏滅	10 大安	11 赤口	12 先勝	13 友引	14 先負	15 仏滅
16 大安	17 赤口	18 先勝	19 友引	20 仏滅	21 大安	22 赤口
23 先勝 勤労感謝の日	24 友引 振替休日	25 先負	26 仏滅	27 大安	28 赤口	29 先勝

二宮翁夜話

- 第百一話：才知に長けた人に成るよりは道徳を弁えた人に成れ 特に若者にはそう指導せよ
- 第百二話：最高の位置に登り詰めるまでは日々の修行が欠かせない
- 第百三話：全ての事は先んじて行わなければ何の利益も齎さない、先んずれば制する
- 第百四話：国中の人々がそれぞれに自分の利だけを追っていればやがて国は滅びる
- 第百五話：公の利益は意外な所にある
- 第百六話：富や利益を得たいと思う時は正業を勤めよ
- 第百七話：手堅い事業開始ほど立派な物は無い
- 第百八話：金銭が増加する願望は叶わない方が多い事が多い
- 第百九話：仏の諸説は輪廻転生を始めとして面白い
- 第百十話：一休和尚の歌は人をあざけている様だが、その本意では誉めている



ミナト (小田原市)

2025 12 令和7年

日	月	火	水	木	金	土
	1 先負	2 仏滅	3 大安	4 赤口	5 先勝	6 友引
7 先負	8 仏滅	9 大安	10 赤口	11 先勝	12 友引	13 先負
14 仏滅	15 大安	16 赤口	17 先勝	18 友引	19 先負	20 大安
21 赤口	22 先勝	23 友引	24 先負	25 仏滅	26 大安	27 赤口
28 先勝	29 友引	30 先負	31 仏滅			

二宮翁夜話

- 第百一話：暴風雨に対しては普段から費用を掛けて備える事が必要である心の暴風雨に対しても同じようにせよ
- 第百二話：倒壊、滅亡の現象は兆候があり、それ以前に原因が備わっていたのである
- 第百三話：この世では全てが循環している
- 第百四話：善とは人道における善で人の役に立つ事を言う
- 第百五話：四角い木は山には無く、はんべんも海には泳いでいない
- 第百六話：天の摂理に基づいてこの世は常に動いている一時たりとも動きが止むことは無い
- 第百七話：増減は意味を持たない増殖こそ価値がある
- 第百八話：季節通りに天候が移りかわる事は大事な事
- 第百九話：この世の全ては因果関係
- 第百十話：嘘やごまかしが勝つ事は無い

2026 1 令和8年

日	月	火	水	木	金	土
				1 大安 元旦	2 赤口	3 先勝
4 友引	5 先負	6 仏滅	7 大安	8 赤口	9 先勝	10 友引
11 先負	12 仏滅 成人の日	13 大安	14 赤口	15 先勝	16 友引	17 先負
18 仏滅	19 赤口	20 先勝	21 友引	22 先負	23 仏滅	24 大安
25 赤口	26 先勝	27 友引	28 先負	29 仏滅	30 大安	31 赤口

二宮翁夜話

- 第百一話：貧富もそれなりの原因の結果
- 第百二話：この世は礼儀で全てが保たれている
- 第百三話：地獄も極楽も全て机上の空論
- 第百四話：いろいろ異なって聞こえる音も本日は皆同じ空気の振動
- 第百五話：食、衣、は最低限の物で良い
- 第百六話：粗食にも不足を感じない時は全てが成就する
- 第百七話：貧富は隣合せにある
- 第百八話：報徳の基本は個人の徳行徳行の基本は分度
- 第百九話：天禄は尊く守るべきもの
- 第百十話：一度身についた贅沢や思い上りを改めるのは相当の覚悟が無い限り難しい



1824~1892(文政7~明治25)
福住正兄

福住正兄：内田半右衛門（内田善久）・柚本教子 高祖父
文政7年8月21日～明治25年5月20日（1824～1892）

相模の国大住郡片岡村：大沢市左衛門の5男として生を受ける。
幼名：政吉

天保の大飢饉に直面し貧しい農民を救おうと医術の道を志していたが、「人の病を治す医師になるよりも、国の病を治す医師になるべし。それには二宮先生の教えを請うのが良い」と父の勧めにより弘化2年21歳の時に二宮尊徳翁門下生となった。弘化4年尊徳が下野国東郷陣屋（桜町仕法、現在の栃木県真岡市）へ天領建直しに赴いた際には同行し尊徳翁の身の回りの世話をを行った。その際の日々の教えを書留めた物を、後に纏めたものが「二宮翁夜話」である。

正兄は子供たちへの遺言として末代まで助け合うが良いと言残している。これを子孫はしっかり守り、今でも毎年無尽の形態で集まりを持っている。報徳報本社（永安講）がそれで今年第149回を迎える。当厚木内田家は曾祖母「りょう」が正兄の女である事より末席に名を連ねている。